

ヴァイオリンとチェロの音色が響く生鮮朝市を開催

南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館（上田みな子理事長 組合員 137 名）では、4月2日（土）にアヤマの里活性化施設・ほたるみ館のふれあい広場で、「ヴァイオリン・チェロコンサート&生鮮朝市」を開催した。朝市には地元で採れた新鮮野菜や果物、それらを加工した惣菜や菓子、人気商品の手作り味噌が並び、組合員が出品するフリーマーケットも併設された。朝市にあわせて開催されたヴァイオリン・チェロコンサートでは、ヴァイオリニストの藤原晶世さんとチェリストの藤原秀章さんの「藤原姉弟」、ピアニストの開原由紀乃さんが多くの来場者を演奏で魅了し、今までにない特別な朝市となった。

藤原姉弟は地元南アルプス市の出身で、現在はドイツ・ベルリン大学大学院に在籍し、演奏家として活躍



音楽家きょうだいの
藤原晶世さん、秀章さん

している。姉の晶世さんには、賑わいのあるほたるみ館の朝市が幼少期の思い出として深く心に残っており、海外を拠点に活動する中で改めて南アルプス市の良さを実感し、「ほたるみ館の朝

南アルプス特産品企業組合 ほたるみ館



市のBGMとして演奏させてほしい」との熱い申し出があったことから、今回の世界的弦楽器奏者の演奏が無料で鑑賞できる野外コンサートが実現した。

会場には地域住民など約 250 名が来場し、晴天に桜が咲き揃った素晴らしい景観の中、富士山が一望できる芝生の広場でクラシック音楽の美しい音色を感じながら、来場者たちは時間を忘れて穏やかな時を過ごした。

組合では、自ら運営する指定管理者施設のアヤマの里活性化施設・ほたるみ館で毎月第3土曜に朝市を開催してきた。感染症が拡大し開催を自粛していた時期もあったが、再開を心待ちにする消費者のため、今年度から活動を再開している。また、組合の運営する農産物直売所「まちな駅・くしがた」では、組合員が生産する農産物や加工品を低価格で提供するなど、地産地消の普及を目的に活動している。

